

寄せられた意見

No. 64-1

受付日	H17. 10. 5	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名					

(一)

河川の環境の整備と保全について

私の小学校時代の石寄川河川敷地には、仁徳柳や
樅とコナラなどの大木が茂り自然の風景が
河川敷は水分が豊かで、この大木と生長が早く
うさぎ藪やスズメと多くの生物が生き生きと
が実り、下校時特に友達と、身元を取り相ひいた
又桑の葉がと豊か、木に登って食したり、又山胡桃
今昔の大木となく、大まに河川敷を歩き回ることが
ますが木の子木とと少なくなり、一棟の校舎
感じます、戦後水の流れる長くおの河川の
木を根をさ切りはうた時代と取り入れた、水辺
水辺の景観を、あつた考え、行つた物と思ひ、
が木の影が川面にうつり、薄暗い影は
うい、ヤマメ、特に、サクラと、ひそひそ
今昔、今昔、水辺の景観の保全に努める
なれば、やがては、近い将来に、良い環境に回復

寄せられた意見

No. 64-2

受付日	H17. 10. 5	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名					

する事で、~~2017~~ 実は私の住んでいる市(近江町)の川
 が決まる。この河川は大雨が降ると~~濁流~~と
 なり、その水音と~~流~~で流れます。このため~~数年前~~
~~数年前~~ 田畑に^{冠水}水がたまり、損害を被り、また
 其のため災害復元対策で、3面フローエース
 を敷いたため、このためとらけ、少イなと、ほとん
 ど生息しなくなり、また以来30年以上経た
 ず、今日川が木が育ち、森の形成が出来て、また
 川が小川に見え、中々あり、小島が数
 多く飛来するようになった。春の朝はと暫く聞か
 り、楽にいます。この様に川が木が如何に
 大切かを知りました。

寄せられた意見

No. 64-3

受付日	H17. 10. 5	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名					

㊦

洪水等による災害の発生防止又は軽減に関わる
目標

中ノ岳御上段川等と中ノ岳の住民と石寄川との
争いは大正5年開始かたと言っています。大正
11年には水害で[黒塗り]が死亡し又昭和7年
には未曾有の大水害で田畑の流失など被害は
甚大であった同年の冬救済工事で中ノ岳10線
の山の中から馬で割石を運ぶ事に護岸工事を
施行して、おやぐ田畑の流失を食い止める事が
出来た。部分的な水害は2~3年ごとく中ノ岳
を見舞ひその度事々農民の作つた作物資産を
奪って行きます。中ノ岳には今でも忘れられ
ない水害が昭和21年7月の水害です。国鉄の
10線、8線、2線の3ヶ所が切断され10線を
切断した水が8線の山と鉄道の狭い場所を水
が通り切れず、7mの高さ3m以上と水が停滞し
主人を残して4人の人命が死亡しました。

道北なよろ農業協同組合

※ [黒塗り]箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 64-4

受付日	H17. 10. 5	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名					

私はこの様な悲^惨境況は今後見せる
 事かたは、^{この時の雨量は100mmと記録されています}強ふ決て~~あり~~あります。此の大雨
 土木現業所管内の土砂災害危険箇所の資料が刻
 ますが中石寄5線の川向いの石寄川添いの山が
 大雨に刻、地すべり危険箇所と警告を刻ていまふ
 これを一度起ると、石寄川が堰止められ水が
 中石寄小学校が刻、大々事起る危険が刻
 ます。それ刻と刻なつて内水等、増水刻、築堰の高
 さ刻水が停滞する事刻ります。考え刻付けても恐い
 事です。又、10線附近の築堰が切れ刻と刻る。中石
 寄1帯が^膨沼状^膨刻、多くの犠牲が刻るで、いま
 水害は、人間や資産を奪ふ刻、刻でなく、田畑や
 表土が流され、回復に永い年月が、必要で、いま
 この様な惨事を防ぐのは水調製する^膨刻は刻りません
 私は、1日と早く、沼の完成を願ひます。
 昭和30年刻と大水害が刻、刻た24時、9線の鉄道
 が切断され、中石寄一帯、大貯水池といふ状態

寄せられた意見

No. 64-5

受付日	H17. 10. 5	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名					

あり、小学校を寺の代りに求めている。[REDACTED]
 [REDACTED]様が亡くなり、大きな犠牲を出しました。多くの
 の木材や家畜を失い、田畑の表土も流され、中石
 寄は廃墟となったと[REDACTED]氏が記録致して
 ございます。北海道開発局などにも陳情の記
 録されています。

道北なよろ農業協同組合

※ [REDACTED]箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 64-6

受付日	H17. 10. 5	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名					

(三)

河川整備の実施に関する事項

ダムが建設されると河川の管理が良くなると思います。
足河川の蛇行が割と砂が溜まるのを防げる良いところでは
ないが、国連野の忠烈市川の例を見ると、ダムがあるため
下流の河川などほとんど護岸ができていないのが多い。
見受けられますが、名寄川に付いては水量と多いので
下流の小河川の増水が例 ~~多少~~ 多少は幸小と思ひ
ますが、ダムが川河川は一旦雨量が多くなると上流
は土砂を流し下流の方へくると土砂が溜り表
地排水が抜けず困っている小河川が表が
多数いる現状です。大水害に備えて、様裏
の築堤は大きな排水設備を作っているところ。
21年のがん事態になつて、ダムに防く事が未来
のことはないが、昭和21年の洪水事はダムが問題
なつてきています。上流の築堤が崩壊した場合
内水の流す施設を流すための物が見受けられ

道北なよろ農業協同組合

※ 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 64-7

受付日	H17. 10. 5	年齢		居住 市町村名	名寄市
件 名					

この様な時は上流の築堤崩壊附近の住民は水の流れる音で気付く早いが下流の住民の方は、静寂が水位があがって来るなど夜間とは違う分、休時は床の上まで水が来ていた。この事は体検した人達の話で、中尾寄は上流、流線附近決壊した21年時、川は国鉄線より1m以上も水嵩が割れた。現在の築堤の高さ程ではなかったのではないかと予想されます。以上私の体検、住民の話とを総合して書きました。開削川は水は、7月完成は、7年程、年月が必要とのため私は悲慘な現実を見る事になり、文題を致します。